

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-275020

(43) 公開日 平成7年(1995)10月24日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 4 C 27/00				
A 4 1 F 19/00	1 1 5			

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平6-105859

(22) 出願日 平成6年(1994)4月7日

(71) 出願人 594083357

株式会社レオ・エンタープライズ
山梨県甲府市城東二丁目24番16号

(72) 発明者 土橋 文位

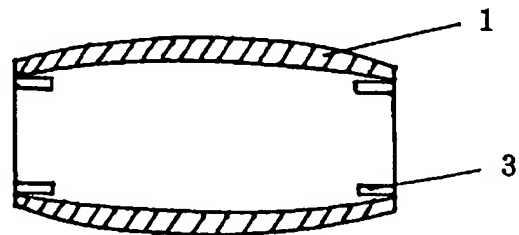
山梨県甲府市城東二丁目24番16号

(54) 【発明の名称】 帯留めの製造方法

(57) 【要約】

【目的】電鍍、キャスト法及びプレス法等によって作られた帯留め本体の中空の穴に、帯ひもを通すデザインの帯留めとその製造方法を提供する。

【構成】電鍍及びキャスト法によって、図1の例のような形状の帯留めを製造する。中空円筒状の材料を用いて、プレス法で製造する。



BEST AVAILABLE COPY

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】帯留め本体の中空の穴に帯ひもを通すデザインになっている一体構造の帯留めを製造することを特徴とする帯留め及びその製造法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、服飾業界において利用される衣装の付属品である帯留め及びその製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の帯留めにおいては、帯ひもを通すリングを帯留めの本体に付属して製造していた。図3に従来の技術によって、製造された帯留めの縦断面図を示す。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の帯留めにあつては、帯ひもを通すリングを付属させて帯留めの製造を行っていた。このことは、帯留めのデザインが限定され、多様なデザインの帯留めの製造が限定されていた。

【0004】本発明は、電鍍、キャスト及びプレス等により、帯留め本体の中空の穴に帯ひもを通すデザインの帯留めを作ることによって、一層多様なデザインの帯留めとその製造方法を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の帯留めにおいては、電鍍によって、筒状のあるいは筒状の一部が省かれている製品を製造する。その製品をそのまま帯留めとして利用するか、その製品に帯が通せる処理を施し帯留めを完成させる。

【0006】また、電鍍によって製造した帯留めと同様の形状の帯留めをキャスト法によって、製造する。

【0007】その他、電鍍によって製造した帯留めと同様の形状の帯留めをプレス法によって製造する方法もある。

【0008】

【実施例1】実施例について図面を参照して説明する

と、図1において、帯留め本体1が斜線で示されている。斜線に囲まれた部分が中空の空間となっており、帯ひもを通すことができる。図1の形状の帯留めやその他のデザインの帯留めを電鍍、キャスト法またはプレス法等によって製造する。また、帯ひものガイド3がない構造の帯留めも製造した。

【0009】

【実施例2】図2は図1の斜線部分のうち帯留めの裏になる部分の1部を省いた構造の帯留めである。帯ひもを通すガイド3によって、帯ひもを支持することになる。また、帯ひものガイド3がない構造の帯留めも製造した。図2の形状の帯留めやその他のデザインの帯留めを電鍍、キャスト法またはプレス法等によって製造する。

【0010】

【発明の効果】本発明は、以上に説明したように製造されるので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0011】電鍍、キャスト法やプレス法など多様な製造方法によって、中空に帯ひもを通すデザインの帯留めを製造できるようになる。そのため、今までにないデザインの帯留めができるので、一層豊かな装いを楽しめるようになる。

【0012】図1のような中空構造の帯留めになっているので、表と裏の区別がなく、1個の帯留めで二種類の帯留めのデザインを利用できる。そのため、多様なデザインの帯留めを経済的に楽しむことができる。

【0013】

【図面の簡単な説明】

【図1】帯留めの縦断面図である。

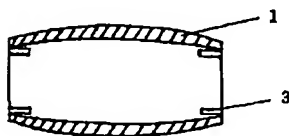
【図2】帯留めの縦断面図である。

【図3】従来の帯留めの縦断面図である。

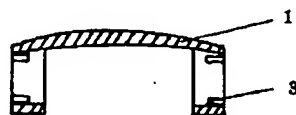
【符号の説明】

- 1 帯留めの本体
- 2 帯ひもを通すリング部分
- 3 帯ひものガイド

【図1】



【図2】



【図3】



BEST AVAILABLE COPY